

ばばだけ 広島サンダース

久原 大輝

2月に入り、寒さが一段と増してきた。8日には猫田記念体育館周辺にも雪が積もり、休養日だった体育館は静かな雪景色に包まれた。試合のない1週間は、どこか時間がゆっくり流れているようにも感じられた。

これまで毎週末に試合が続き、自然と試合中心のサイクルで日々を過ごしてきた。もちろん

充電を経て加速へ

ん習慣化できる良さはあるが、その週に見つけた課題と丁寧に向き合う時間は決して多くはない。だからこそ、この1週間は貴重だった。

アウトサイドヒッター陣はレセプションの形を改めて確認し、セッターとミドルブロッカーはクイックの呼吸を何度も確かめ合った。派手さはないが、こうした積み重ねが確実にチームの土台を強くしていく。気づけば開幕時の昨年10月よりも、プレーの精度は格段に良くなっている。

練習がない時間には家族と過ごし、心と体を整える選手の姿もあった。これから4月19日の週末で試合は続く。長い道のりを戦い抜くために整える。そんな1週間だった。ここから先は立ち止まることなく、全力で駆け抜けていきたい。

(広島Tマネジャー)

差し入れていただいたフルーツゼリーに喜ぶ高梨海輝選手⑤、坂下純也選手⑥、山本将平選手

(2025年12月26日)

